

3 都市安全分野

(1) 分野の重要テーマ (テーマにかかる現状と課題)	安全・安心なまちづくり ①地域防犯(空き巣防止、まちを明るく、地域連帯→パトロールや街灯・門等、あいさつ運動や防犯ステーション) ②安全な歩道の確保(整備の遅れ、狭隘→重点箇所・危険度マップ、道路構造の調査・検討・提言) ③地域災害対策(避難場所、危険箇所、近所づきあい希薄→自治防災強化、避難所・水害予測マップ、隣近所交流、災害情報発信、要支援者把握) ④交通安全(交通量多い、歩道に樹木突出、自転車マナー→交通量調査・規制強化、安全対策への地権者協力、自転車免許制度) ⑤子どもの防犯(日常的子ども見守り→子ども110番の家マップ、下校時防災無線の工夫、スクールガード充実、青パト活用) ⑥道路の整備(住宅道路狭隘、緊急車両困難、歩行者危険→狭隘道路のマップ、スマートICの課題、ソーラーの道路照明) ※子どもたちの将来を見据えた安全・安心なまち			
(2) 事業メニュー	施策・事業名 1 交通量調査と規制の強化、見直しの提言 2 安全・安心マップの作成と活用 3 自治防災の強化 4 地域住民による防犯ステーションの設置	事業分類 ① ② ③ ①⑤	事業概要と協働効果 交通量調査の実施。道路ごとの規制・構造の見直し提言。危険箇所の減少へ。 防犯上、交通安全上の危険箇所をマップ化、弱者等の安全を図る。 各行政区の自治防災力の強化 情報収集や地域住民による防犯活動の拠点。地域連携を高め、犯罪防止へ。	協働担当課 自治環境課・道路下水道課 自治環境課・道路下水道課・学校教育課 自治環境課 自治環境課・学校教育課
(3) モデル事業	1) 事業名 安全・安心マップの作成と活用 2) 事業形態 直轄事業・つながり支援事業 3) 協働範囲 企画・運営・実施・評価・委員公募 4) 協働担当課 自治環境課・道路下水道課・学校教育課ほか 5) 事業目的及び協働効果 事業目的:安全・安心なまちづくり 協働効果:協働により地域住民の連携が強化され、防犯及び交通安全向上に寄与する。 6) 事業内容 防犯、交通等、安全の観点からマップを作成(詳細は今後のグループ活動で検討) 7) 役割分担 住民側 現地調査、マップ作成、活用策の検討ほか 行政側 資料・情報の提供、随時検討に参加・助言 8) 実施に当たっての課題と対応策 どの範囲から始めるか。どんな方法で進めるか。今年度中の工程は。経費はどうするか。協働の効果をどう評価するのか。			

【(2)「事業メニュー」の事業分類】

- ①重要課題だが長期的検討又はまとまった予算が必要な施策・事業
- ②住民主体で経費がかからず、すぐに実現可能な事業(直轄事業/モデル事業候補)
- ③現状では行政のみの事業だが、協働で実施すると効果的な事業(直轄事業/モデル事業候補)
- ④まちづくりネットが支援し、別の担い手の育成を働きかける事業(つながり支援事業/〇〇住民会議、ワークショップなど)
- ⑤既存の住民活動があるが、協働手法による支援・連携が必要な事業(つながり支援事業/ネット勧誘、事例発表会など)
- ⑥当面は行政のみの実施として経過を見守るが、将来的に何らかの協働を検討すべき事業
- ⑦その他